

普及活動検討会実施報告書

(仙 台) 農業改良普及センター
 実施月日：平成30年 2月 5日
 実施場所：仙台合同庁舎1003会議室
 (単位：人)

1 検討内容

No	検 討 項 目
1	平成29年度完了プロジェクト課題について
2	平成30年度普及指導活動について
3	総合検討

2 検討委員の構成

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者	1	生 活 者	
若手・女性農業者	1	学識経験者	1
市 町 村	4	マスコミ	
農業関係団体	3	民間企業	1

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
平成29年度プロジェクト課題について	4.16	それぞれの課題の中に共通する事項も見えてきていると感じた。同じ品目について、地域ごとの特徴や課題を整理できれば、仙台近郊においての生産振興が図りやすくなると思われる。 農業者同士の交流が活発になれば農業技術普及も高まると思われるので、農業者を中心にしたネットワーク構築も活動のテーマとなり得る。	<ul style="list-style-type: none"> 対象個々の課題解決に向けた活動とともに、地域ごとの特徴や課題を整理して、効率よく、対象のニーズに合った活動を展開して参ります。 効率的な普及指導活動の展開のため、世代ごとや地域別、または広域的な交流の場を検討して参ります。
普及計画について	4.5	経営全体を考える視点が持たれてきている。農家の視点に立った農業技術であり、今後も一層進めて欲しい方向である。	<ul style="list-style-type: none"> 普及活動の成果や技術を個々の農家や地域に波及させるとともに、地域の課題を今後の活動や普及指導計画に反映して参ります。
プロジェクト課題1 【仙台東部における土地利用型法人の経営体質の強化】	4.66	次世代を担う経営体の育成にかかる課題として期待します。 各組織とも経営内容が年々ステップアップしている。後継者の問題は法人にとっても同様の課題なので取組が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題解決に向けて普及活動を展開し、成果や技術の波及に務めて参ります。 各組織の経営内容に応じた経営継承の姿を、経営者とともに考え、その実践と実現に向けた支援に努めてまいります。

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロジェクト課題 2 【多様な担い手による園芸振興を軸とした中山間地域農業の実現】	3.83	対象と目的がやや曖昧な印象をもった。鳥獣被害対策は地域ぐるみの取組として検討願いたい。 女性農業者を中心に、園芸振興、地域の活性化につなげてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 対象、目的を明確にした普及活動を推進するとともに、計画書の表現を工夫して参ります。
プロジェクト課題 3 【省力化技術導入による大規模土地利用型法人の経営体質強化】	4.33	省力化技術の定着事例となるような活動を期待する。直播栽培の雑草防除技術が確立されれば、その効果は大きいので期待しています。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題解決に向けて普及活動を展開し、成果や技術の波及に務めて参ります。
プロジェクト課題 4 【生産組織でのねぎ作期拡大による収益性向上】	4.5	作期の拡大により、収益をアップさせる狙いが良い。需要に応じたものをつくることが重要である。輸送コストについても検討願います。事例を他の組織に発信してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> より効果をたかめるために評価いただきました省力化や収益拡大の視点を反映させた普及活動を心がけて参ります。 成果を取りまとめ、情報発信していきます。
プロジェクト課題 5 【安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成】	4.33	摘み取りなど観光農園の魅力もあるブルーベリーなので、消費者を意識した都市農業ならではのプロジェクト課題として進めて欲しい。 新品種の出荷期までの長期支援が必要である。栽培技術の向上と労力不足を補う方法への取組を期待している。	<ul style="list-style-type: none"> 課題設定期間のまとめとなる最終年を迎え、地域の課題解決に向けて普及活動を展開し、中長期的視点を持ち、成果や技術の波及に務めて参ります。
その他		検討会の内容だけを見ると集団や法人のみの対応であるかのように見える。プロジェクト課題の内容を個々の農家にも波及するような取組もして欲しい。 震災後7年間は沿岸部中心にやってきた。今後は、西部にも力を入れて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> 普及活動の成果や技術を個々の農家や地域に波及させるとともに、地域の課題を今後の活動や普及指導計画に反映して参ります。 平成30年度からは、中山間地域支援担当も設置して活動して参ります。

